



桐生商工会議所NEWS

「オリオン座通り」

桐生の道 12 オリオン座通り

本町三丁目の桐生信用金庫本町支店角の交差点から西に向かう道を「オリオン座通り」と言う。かつては「桐座通り」とも呼ばれた。通りの突き当りに明治中期に建てられた桐生で最初の常設芝居小屋「桐座」があり、この通りは言わば桐座に行くための道だった。昭和の初めに通りは現在の山手通りまで延長され、これに伴い桐座は南向きに位置を変えた。東京歌舞伎など多くの興行を重ねた桐座は戦後の昭和22年（1947）に芝居小屋としての幕を閉じ、映画専門館の「桐生オリオン座」となった。

オリオン座の時代は戦後の映画全盛期と重なり、この通りには多くの市民が足を運び賑わった。平成15年（2003）4月の閉館後は通りも寂しくなったが、大正年間創業の老舗日本料理店「だるま本店」や、かつて街のシンボルであった煉瓦造りの歴史的建造物のイメージを継承して新築された「桐生信用金庫本町支店」など、特徴的な店舗、建物も多い。

孤高の画家として知られる石井壬子夫（みねお）は桐生中学在学中の昭和5年（1930）にこの通りを愛着込めて描いている。（「桐生・オリオン座通り（桐座通り）」・大川美術館収蔵）

桐生 商工 だより

2014

3

Vol.705

Topics

盛大に開催！「会員感謝の集い」報告
「feel NIPPON 春 2014」出展報告

<http://www.kiryucci.or.jp>

[f http://www.facebook.com/kiryucci](http://www.facebook.com/kiryucci)

毎月1回1日発行（昭和36年10月18日第三種郵便物認可） 平成26年3月1日発行

「大雪による災害に関する特別相談窓口」の設置について

このたびの大雪により被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。
市内事業所では、倉庫や屋根等の破損・倒壊、営業への影響等が生じています。
原材料価格や燃料費の高騰等の厳しい経営環境の中で、今回の被害がさらに経営を圧迫する
要因となることも懸念されます。
当所では、「大雪による災害に関する特別相談窓口」を設置し、管内事業所の皆さまからの
被害のご相談を承っておりますので、ご案内申し上げます。

桐生商工会議所・桐生中小企業相談所 電話：0277-45-1201

Contents ■■■ 2014.3

シリーズ 産業観光きりゅう紀行④

■ 世界的評価のニットマフラー 丹精を込めてゆっくりと編む 松井ニット技研	1
■ 桐生商工会議所「第8回会員感謝の集い」報告	2
■ 桐生機械工業連合会「おおた工業フェア」を視察	3
■ 共同展示商談会「feel NIPPON 春 2014」に2ブース出展	4・5
■ 平成25年度「グッドデザインぐんま」選定	5
■ 桐生商工会議所会員事業所アンケート集計結果報告②	6
■ インフォメーションコーナー	7
■ 青年部 全国大会参加報告／女性会 県商女性連新年懇談会報告	8
■ 群馬県機械金属工業技術者表彰式／F T 桐生写真コンテスト表彰式報告	9
■ 管内景況調査結果（平成25年10月～12月期）	10
■ 両毛5市ネットワークコーナー	11
■ 会員事業所からの発信（株協和／藤屋本店）	12



ピックアップデータ

人 口 120,000人 (- 204)

世 帯 数 49,960世帯 (- 79)

商工業者数 6,249人

会 員 数 1,775人 (- 4)

人口、世帯数は1/31現在、事業所数は平成18年
事業所統計より算出。会員数は2/1現在。

有効求人倍率（12月）

	前月比
◆ 桐 生	0.90 (+0.15)
◆ 群馬県	1.12 (+0.07)
◆ 全 国	1.03 (+0.03)

桐生公共職業安定所調べ

群馬県乗用車新車登録台数

	前年同期比
◆ 11月	5,036台 (+ 5.5%)
◆ 12月	4,823台 (+12.8%)
◆ 1月	6,036台 (+24.6%)

群馬県自動車販売店協会調べ

技術で世界をつなぐ



<http://www.oguraclutch.co.jp>

【本社】桐生市相生町2-678

TEL.0277-54-7101 FAX.0277-54-7117

営業所 東京・大阪・名古屋・北陸・広島・九州

笑顔1番
看板2番



かんぱん各種
ステッカー
デザイン
LED表示機

群馬テレビ代理店
とちぎテレビ代理店

活気ある桐生の街並み創る
東和広告システム



株式会社 CREATIVE INTEGRATION
IOWA 東和広告システム

〒376-0002 群馬県桐生市境野町7-50-1
E-mail touwa.sisutemu@wing.ocn.ne.jp
TEL.0277-32-5503 FAX.0277-32-5504

3月の
無料相談会
開催のお知らせ

- 信用保証協会 金融・経営相談…… 3月11日(火) 午前9時30分～正午 当所2階 相談室
- 行政書士なんでも手続き相談…… 3月14日(金) 午後6時～午後8時 当所4階 404号室
- 特許発明相談…… 3月20日(木) 午後1時30分～午後3時30分 当所2階 相談室
- 法律相談…… 随時予約を受け付けます

(連絡先: 桐生商工会議所 TEL0277-45-1201)

桐生商工会議所3月のスケジュール

1日(土)	FT「ニコニコ動画コンテスト」審査・表彰式 (ケービックホール)		県連合会 商業・物流委員会／交通・観光委員会／総務委員会 (群馬県中小企業会館)
4日(火)	FTまちづくり委員会	18日(火)	繊維部会協議会 (501会議室) 関東商工会議所女性会会長会議・講演会 (大手町サンケイプラザ) 経営安定セミナー「売り上げアップのためのマーケティングと知的 資産経営」 (405号室) 群馬県商工会議所中小企業相談所長会議 (前橋商工会議所)
5日(水)	両毛五市商工会議所広報担当者研修会 (東京) 両毛五市商工会議所事務局長会議 (館林)	19日(水)	桐生地区新入社員研修会 (桐生市職業訓練センター)
6日(木)	関東商工会議所連合会 平成25年度運営研究会 (宇都宮市) 女性会理事会 (501会議室) FT第69回生活文化委員会 (404号室)	20日(木)	桐生地区プラスチック工業会正副会長会議・理事会 (501会議室) 日商常議員会・議員総会 (帝国ホテル) 日商通常会員総会・記念講演・会員懇親会 (帝国ホテル) 特許発明相談会 (商工会議所会館2階相談室) FT路地裏研究会プロジェクト会議 (502会議室)
7日(金)	マル経審査会 (502会議室)	22日(土)	桐生新町町立て祭・423年～大野八右衛門没後400年～ (市内各所) 4/6まで FT一店一作家まちなか展覧市 (中心商店街各店舗) 4/1まで
10日(月)	県連合会 専務理事会議 (群馬県中小企業会館)	24日(月)	県連合会 地域開発・建設委員会／金融税務委員会／工業委員会 (群馬県中小企業会館)
11日(火)	工業部会協議会 (桜の間) FT第113回運営委員会	25日(火)	マル経審査会 (502会議室)
12日(水)	桐生テキスタイルプロモーションショー〔協賛〕 (TEPIA 東京 ・北青山) 13日迄 建設部会議員会 (501会議室) 両毛五市商工会議所会頭会議 (館林・ジョイハウス)	26日(水)	桐生商工会議所 正副会頭会議 (会頭室) 桐生商工会議所 常議員会 (オビニオンホール) 桐生商工会議所 通常議員総会／特別講演会 (ケービックホール)
13日(木)	J I S 溶接技能者評価試験 (群馬産業技術センター) 商業部会協議会 (桜の間) 県連合会 繊維等地産産業委員会／労働委員会 (群馬県中小企業 会館)		
14日(金)	行政書士なんでも手続き相談会 (404号室)		
17日(月)	県連合会 理事会・臨時総会 (前橋商工会議所) 群馬銀行役員と県内商工会議所会頭との懇談会 (前橋商工会議所)		

2月25日現在

新入会員の紹介

ご入会ありがとう
ございました。

(平成26年2月1日～2月21日現在)
(順不同・敬称略)

部 会	事 業 所 名	代 表 者	業 種	住 所
環境・生活	m・z	高 橋 麻衣子	飲食業	本町
環境・生活	S L A S H	齋 藤 富士子	飲食業	本町
理財・厚生	(株)光恵	亀 山 恵 美	介護事業	本町

太田商工会議所／群馬県地域ジョブ・カードサポートセンターよりお知らせ

ジョブ・カード制度 をご活用ください!

人材確保・育成を目指す経営者の皆様へ

更に使いやすくなった職業訓練制度(厚生労働省／キャリアアップ助成金)の活用をご提案いたします!

桐生商工会議所 又は 太田商工会議所／群馬県地域ジョブ・カードサポートセンター TEL.0276-45-2121

ジョブ・カード事業HP <http://www.jc-center.jp/>



織物の産地として発展してきた桐生市には、ものづくりの伝統が息づいている。

繊維産業のみならず機械金属工業を中心とした製造業でも、類いなき技術を有し、優れた製品やユニークな独自商品を開発、生産している事業所が数多く存在する。

そこからつくり出されたものに注目し、「ものづくりのまち桐生」の魅力を再発見したい。

今月号からは、「Room of KIRYU. プロジェクト編」として、桐生のモノづくり技術とデザイン感性をマッチングさせて開発した製品の数々を連続して紹介していく。

「Room of KIRYU. プロジェクト」の詳しい内容は HP をご覧ください。 <http://roomofkiryu.com>

ファーストフォトフレーム / FIRST Photo frame

UENDAI × 藍工房正田



生まれたその日から…大切な1枚を飾って「護る」

藍染色家が特別な方法で染めた木のパーツを使い、日本の様式に欠かせない建具の若手職人が手掛ける組子があしらわれた特別なフォトフレーム。

組立加工を行ったUENDAIは、建具職人である狩野典子氏が代表を務める木製品ブランド。伝統的な組子技術や木材の知識をもとに、木の温かみを最大限活かした木製デザイン雑貨や家具の制作活動を行っている。伝統技術を女性ならではの繊細な感性で再デザインさせることで、新たなニーズにマッチした商品開発を行なっている。

藍染加工を行った藍工房正田は、藍染め及び草木染め加工を行う染色工房。正田智恵氏は、藍本来の天然の力による染色にこだわる、数少ない藍染家である。藍染には、日本古来のブランド藍である「阿波藍」100%を使用し、化学薬品を使わず藍本来の自然の力による「発酵だて」で染め上げており、深みと「てり」のある発色となっている。

藍には防虫効果があり、大事な着物は昔、藍染めの風呂敷で包んでいた。組子の麻葉模様は「すくすく育つ」と言われ、赤ちゃんの産着にも用いられる縁起のいい文様である。

伝統の建具の組子細工と昔ながらの藍染めの技法が出合い誕生したフォトフレーム。大切なご家族の特別な写真を飾るために、またご出産祝いの贈り物としても最適な一品である。

製品仕様：L60mm×W250mm×H200mm 製品に関するお問合せ 桐生商工会議所 0277-45-1201

企業名 UENDAI

URL <http://uendai.exblog.jp>

×

企業名 藍工房正田

所在地 〒376-0002
桐生市境野町1-1275-7

電話 0277-44-5797



松井ニット技研

美しく絶妙の配色、ふんわりとやさしい手ざわり、ニューヨーク近代美術館（MOMA）のミュージアムショップでも圧倒的な人気を誇る「マルチカラーマフラー」は桐生の中心市街地に工場を構える㈱松井ニット技研（松井智司社長）が生み出す製品である。

同社の創業は明治40年（1907）、銘仙機屋としてのスタート。戦時中は企業整備により廃業となり、中島飛行機関連のスプリング工場となった。戦後の昭和23年（1948）に松井社長の父親が亡くなり、母親がニット業に活路を求めて、同25年（1950）に中古のラッセル編機を導入したのが松井ニットの発祥となった。靴下やトリコットなどの編み立て業から、数年後、ラジオドラマ「君の名は」でヒロインが着用した「真知子巻き」が流行、マフラーが爆発的な人気となり、同社のマフラーやストールの生産が大きく伸展した。

その後、対米輸出のマフラーや帽子、ベストなどの量産品が好調だったが、1970年代の日米繊維交渉による輸出規制や円高の影響で不振に陥り、岐路に立たされたという。松井社長は同50年（1975）に商社に勤務していた弟の敏夫氏を専務に迎え、松井ニット技研を設立、国内市場に重点を移し、イッセイミヤケやコムデギャルソンなどのデザイナーズブランドのOEM生産に取り組んだ。「コムデギャルソンの川久保玲氏もよく工場に来られました」と松井社長。ブランド品のOEM生産の経験が今日のブランド力のある松井ニットの基盤となった。

自社ブランドの確立を目指し、TPS（テキスタイルプロモーションショー）での商品開発、ジャパンクリエイションへの出展などを重ねた。MOMAのエージェントが訪ねてきたのが平成11年（1999）のこと。翌年から「マルチカラーマフラー」のミュージアムショップでの販売が始まり、五年連続で売れ筋ナンバー1を記録、松井ニットは世界に名を知られるようになった。

昭和30年代の編機は手づくりに近いゆっくりとした速度で稼働し、ソフトで弾力に富んだ風合いに仕上がる。独自の配色は織物産地で育んだ豊かな感性と印象派の絵画や芸術作品から得たインスピレーションを加え、他にまねの出来ない製品となっている。

平成17年（2005）には念願の独自ブランド「KNITTING IN」を設立、美術館や高級ホテルでの販売も好調だ。さらに女性用ゴルフウェアを開発するなど、常に新分野に挑戦している。

（写真は松井ニット技研工場内、松井智司社長㊤と松井敏夫専務㊦）

●場所／桐生市本町四丁目甲85

●電話／0277-44-3518

世界的評価のニットマフラー
丹精を込めてゆっくりと編む

「会員感謝の集い」盛大に開催

日頃の感謝を込めて、福引抽選会も!!

永年継続会員に感謝状

桐生商工会議所「会員感謝の集い」が二月二十一日（金）午後六時から会議所会館ケービックホールで盛大に開催された。

会員事業所の方々と商工会議所の正副会頭や専務理事、議員とが直接話し合える場を設け、会員の声を今後の会議所活動に生かしていこうと会員交流委員会（藤生五郎委員長）が企画したもので今年が八回目、約二百五十人が参加した。

冒頭挨拶に立った柿沼洋一会頭は「会員の皆様には日頃から商工会議所運営にご協力いただき感謝いたします」と述べ、「これから必要とされる会議所づくりを目指していきたい」と挨拶した。

席上、二十五年の永年継続会員二十人にに対し表彰が行われ、出席者に柿沼会頭から感謝状が贈呈された。

その後、山口正夫副会頭の乾杯で交流懇親会に移り、アトラクションは小田えつこさんによる歌謡ショーが披露され来場者を喜ばせた。福引抽選

会では32型液晶テレビや自転車、食事券、お米、フルーツ、ワインなど豪華な景品が用意され、大きな盛り上がりを見せた。

表彰された二十五年の永年継続会員は次の事業所の方々（カッコ内は代表者、順不同・敬称略）

▽(有)前田健康堂(前田行雄)
▽辻金商店(辻正男)▽東毛式典(株)(新井康信)▽人形の富月(毒島一夫)▽(有)前原呉服店(前原敏夫)▽(有)アイオイコード(澤口正二)▽(株)シミズ(清水安治)▽周藤武▽

(株)岩文(岩崎文三)▽星仁織物(星野仁一)▽(有)さかいゼミ(酒井久美子)▽(株)五十嵐不動産鑑定事務所(五十嵐惇和)▽(有)オートギャラリー(周東弘治)▽戸叶防水(戸叶秀実)▽(株)シンエイ・サービス・システム(森裕美)▽麒麟雀荘(松崎建二)▽(株)フライングガーデン(野沢八千万)▽ビストロラパン(蛭間昭夫)▽甘納豆の桐生堂(大槻享弘)▽(有)モンシェリー(岩崎栄一)



会員に対し感謝の言葉を述べる柿沼洋一会頭（上）
25年の継続会員に感謝状と記念品が贈呈された（左下）
小田えつこさんによる歌謡ショーで会場は大いに盛り上がった（右下）

郷土銘酒

赤城山

近藤酒造株式会社

TEL 72-2221(代) FAX 73-1603

パソコンで楽々記帳!!

事務合理化、経営改善、何でもお気軽にご相談ください。
スタッフ一同皆様からのご連絡をお待ちしています。



桐生中央税理士法人

代表社員 税理士 山上達也

●元宿町事務所／桐生市元宿町 9-26 Tel.0277-46-1122
●宮本町事務所／桐生市宮本町 2-12-22 Tel.0277-22-6162

桐生機械工業連合会が大田区を訪問

技術展「おおた工業フェア」など見学

地域産業基盤の確立と会員企業の技術水準の向上を図る桐生機械工業連合会（会長＝山口正夫桐生商工会議所副会頭）は二月十三日、東京都大田区で開催された「おおた工業フェア」を視察見学した。

同連合会は、桐生広域における機械金属工業関連の企業経営者の代表的な団体として桐生商工会議所内に事務局を置く。現在、中小製造業が集積する東京都大田区の大田工業振興会と連携した交流事業を展開しており、今回もその一環として企画開催したもの。

「おおた工業フェア」は、高度な技術を誇る大田区の中小製造業が一堂に集まり、各社の注目の新製品や新技術の紹介、商談会や豊富なセミナーなど多彩なプログラムが用意された技術・技能展で、大田区、（公財）大田区産業振興協会、（一社）大田工業連合会などが主催し、今年で十八回目を数える。



大田区の企業を訪問し説明を受ける機工連のメンバー（2月13日）

当日は、メンバー二十三名

が参加し桐生市の中型バスで移動。会場となった大田区産業プラザでは、大田工業振興会青年部の熱烈的な歓迎を受け、各ブースの担当者とも積極的に交流を図っていた。

フェア見学後は、大田区京浜島の「へら絞り」の技術で最先端の製品を生み出している（株）北嶋絞製作所を訪問した。一枚の金属板をへらを巧みに使い、見事に形作っていく職人技に参加者一同見入っていた。

平澤 宏氏が逝去

当所常任相談役、元常議員

当所常任相談役の平澤宏氏（平澤建設（株）取締役会長）が二月二十四日に逝去されました。八十二歳。

平澤氏は昭和六年生れ、日本大学工学部卒業後、同十七年に平澤建設に入社、同社は同三十一年に平澤建設（株）に組織変更し、平澤氏は専務、社長、会長を務め、社業を伸展させました。

業界では（社）群馬県建設業協会の常任理事、同桐生支部の支部長を務めるなど業界の発展に尽力しました。

当所では同四十八年に議員



平澤 宏氏

初就任以来、常議員、建設部会副部会長、部会長などの要職を歴任され、平成九年から現在まで常任相談役を務められました。

葬儀は二月二十八日、セレモニーホール板場でしめやかに執り行われました。平澤氏のご冥福を心からお祈り申し上げます。

「海外展開施策活用セミナー」を開催

自社製品の海外展開を進めている企業の取り組み事例等を紹介する「海外展開施策活用セミナー」（桐生市主催、桐生商工会議所、桐生機械工業連合会共催）が、二月二十五日にケービックホールで開催され、企業の担当者ら約五十名が参加した。

経済産業省関東経済産業局国際課課長補佐・橋本智氏が、国の海外展開施策について紹介し、（株）トヨタプロダクツ、（株）工業市場研究所が受託した



海外展開施策活用セミナー

経営に関するご相談は、群馬銀行へ!!

- 事業継承 ●M&A ●確定拠出年金（401k） ●事業資金のご融資 ●社債発行支援
- シンジケートローン ●金銭債権信託（売掛債権流動化サービス） ●株式公開支援
- ベンチャー支援 ●一括ファクタリングシステム ●ビジネスネットバンキング
- ビジネスマッチングサービス ●国際業務支援 ●産学官連携

くわしくは窓口までお気軽にお問い合わせください

あなたの夢、応援します。
群馬銀行
<http://www.gunmabank.co.jp/>

次回の金融・経営相談会（桐生会場）は3月11日（火）です

原則として毎月第2火曜日9：30～12：00桐生商工会議所に無料で開催しています

協会スタッフが皆さまの様々なご相談に応じています。創業に関する相談にも乗らせていただきます。お気軽にご相談ください。

創業・経営・再生「三つの支援」で企業の明日を積極サポート!

群馬県信用保証協会

桐生支店 ☎0277-43-6211(代)・桐生連絡所 ☎0277-45-1201(代)
桐生市錦町3-1-25(桐生商工会議所会館内) 詳しくは<http://gunma-cgc.or.jp/>まで

桐生の“地域力”を全国に発信!! 「feel NIPPON」に 「技」と「旅」2ブース出展

2/5(土) 2/7(日) 東京ビッグサイトで開催
全国から39商工会議所が参加

桐生商工会議所は二月五日から七日まで東京ビッグサイト東展示棟で開催された地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト共同展示商談会「フィールニッポン春2021」に二ブースを出展し、桐生の産業観光とモノづくり技術を全国に発信した。

この商談会は、毎年春と秋に開催される東京ギフトショーとグルメ&ダイニングスタイルショーと同時開催しているもので日本商工会議所の主催。今回は全国から三十九の商工会議所（四十二ブース）が出展し、地域資源を活用した特産品開発や新商品開発、観光促進の取り組みなどを紹介した。当所は、平成二十二年に初出展して以来、四年連続の参加となった。

当所では平成二十年十二月にノコギリ屋根根博覧会を開催し、桐生市のノコギリ屋根工場から生み出される数々のものづくり製品を工場の概要とともにプレゼンテーションした。また、一昨年のフィールニッポンでは「続ノコギリ屋根博覧会」として、先進的な

ファッション産業の舞台に変わっている工場を、そして昨年は、ノコギリ屋根工場から創り出される伝統的な桐生織物を展示した。

今回は、「ノコギリ屋根工場のあるまち桐生ノコギリ屋根の新しい風景」をテーマに、ノコギリ屋根工場の新たな活用事例とともに工場の保存・継承の運動の中で胎動する新しいまちづくりの動きを

紹介した。

出展に協力したのは、ベーカー・レンガ、INOJO IN 工芸倶楽部、ウチヤマ洋菓子店、菓匠青柳ノコギリ屋根店の四店。いずれも織物産業の象徴であるノコギリ屋根工場を全く新しい形で活用している事例である。さらに、同ブースでは、脱温暖化プロジェクトで取り組んできた環境に優しいまちづくりの動きとし

て、群馬大学、地元企業、商工会議所等が連携して開発した「Kicco・Pot(キコポット)」、新たな観光案内事業、低炭素型スローモビリティとして導入した低速電動バス「eCOM・8(MAYU)」も紹介し、来場者の注目を集めていた。ブースを訪れた男性は、「桐生という織物のイメージが強いが、全国的に繊維業界が衰退する中で、古い工場を新しい業態に転用し、保存しているのは素晴らしい」と感心していた。



今回のフィールニッポンには桐生商工会議所から2ブースが出展した

(上) 技ブース：技と芸術が織成す生活空間「Room of KIRYU」

(下) 旅ブース：桐生の産業観光「ノコギリ屋根工場のあるまち桐生」

「ルームオブ桐生」が成果発表

桐生ならではの生活空間を創造

今回のフィールニッポンには、平成二十四年度から事業に取り組む「ルーム・オブ・桐生プロジェクト」も初出展し、今年度開発した試作品の数々を展示した。

同プロジェクトは、繊維産地としての歴史の中で育んできた様々な加工技術とデザイン感性をマッチングさせて優れた製品を開発し、それらをコーディネートした「ルーム（部屋）」という生活空間を創造し、桐生ならではのライフスタイルを提案するもの。

旧金谷邸でプレス発表会開く

報道関係者ら30人が出席

東京での展示に先立ち、一月三十日にプロジェクトの成果発表会が行われ、報道関係七社を含む約三十名が出席した。会場となった東久方町の旧金谷邸（ペーカリーレンガ併設）には、試作開発した製品が並び、桐生ならではの部屋を創り出していた。

主催者を代表し挨拶した柿沼洋一会頭は、「ものづくりのまち桐生が有する力をPR

会場では、床座りもできるソファや紙管で作ったペーパーチェア、ベンチ、寄木の技法を用いたエッグスライステール、独自の樹脂成型技術により仕上げたドリブルテーブル&スツールなど、職人の技とデザイナーの感性との融合により産み出されたデザインインテリアを紹介した。

来場者は、斬新なデザインや意外な素材で作られた製品に驚きを見せ、熱心に説明を聞いていた。

同プロジェクトの詳細につ

して、伝統的な技術や文化も大切にしていきたい」と述べた。

また、同プロジェクトの常任委員長を務める西坂一夫氏が事業経過を報告、同デザイナー・畠山陽子氏（センバタヤ）が試作開発品の説明、同ディレクター・木島広氏（O2O apparel代表）が自ら制作したホームページについて説明した。

いては、ホームページ（<http://roomofkiryu.com>）をご覧ください。

なお、試作開発品は、本紙裏表紙の「ものづくりのまち桐生」でも今月号から順に紹介していきます。



主催者あいさつをする柿沼会頭



旧金谷邸で行われた成果発表会

“グッドデザインぐんま”に『ステップ・ソファ』 会員事業所からも多数選定

県内の優れた工業製品を選定・推奨する「グッドデザインぐんま」に、桐生商工会議所のルーム・オブ・桐生プロジェクトから申請した『ステップ・ソファ』（床にも座れるソファ）が選定された。

グッドデザインぐんまは、デザインに対する理解と関心を高め、地域の産業振興と個性的で豊かな県民生活を目指し、平成五年度から実施しているもので、第二十一回目にあたる今回は、商品部門、クラフト部門、パッケージ部門の合計で百三点（七十二社）の応募があり、審査の結果、七十五点（六十二社）の商品を選定した。

「ステップ・ソファ」は、通常のソファに床にも座れるフロアマットが一体化されており、座面にもたれながらくつろげる「和の目線」を融合させたデザインとなっている。デザイナー・手島彰氏の発案で開発され、ファブリックのデザインは畠山陽子氏が担当した。

また、今年度も当所会員事業所から多くの商品が選定された。

【商品部門・奨励賞】

▽撥水アームカバー 朝倉染布（株）

【商品部門】

▽スフィアネックレス・スフィア（株）笠盛▽舞妓ちゃんだらり帯・桐生織緯錦男帯 合資会社後藤▽レスキューアクアSE450シリーズ（株）トヨダプロダクツ▽地盤測定器「グラウンド・プロ」（株）フューチャーアンドスペース▽桐生（有）若宮

【クラフト部門】

▽ねこの帯・桐生絞着物波動 泉織物（有）▽世界にひとつのギフトセット（株）土田産業

【パッケージ部門】

▽桐生織りの織り方名のギフト袋及びおせんべいシール（株）新浜せんべい



グッドデザインぐんまに選定された「ステップ・ソファ」

会員事業所アンケート 結果②

桐生商工会議所が昨年暮れに行った会員アンケートの結果報告二回目。

四月からの消費税増税について質問した。

はじめに、「増税に伴い見込まれる売上への影響について」尋ねた結果、「売上増加」が14%、「売上減少」が46%、「影響しない」が159%、「分からない」が307%だった（その他、無回答54%）。半数近くが売上減少を見込んでおり、増税による売上への影響を心配する声が多い。

次に、「増税に伴う商品・製品・サービスへの価格転嫁について」尋ねた結果、「価格転嫁を予定している」が46%、「価格転嫁を予定していない」が306%、「分からない」が158%だった（その他、無回答11%）。仕方なく価格転嫁に踏み切るケースが多くなると考えられるが、増税分をそのまま価格に転嫁すると消費マインドの減退や競合との価格競争等の面で難しいという意見もあった。

次に、「増税に伴う駆け込み需要の有無について」は、「需要はある（予想される）」が307%に対し、「需要はない

（予想されない）」が478%と半数近くを占め、期待されるほどの駆け込み需要はそれほど多くなさそうと言える。

最後に、「増税に向けた取組みについて」尋ねた結果、①経費削減が122票でトップ、次いで②新規販路開発（81）③生産効率の向上（79）④高付加価値製品・サービスの開発（69）⑤仕入れ価格の見直し（58）⑥特になし（54）⑦人件費削減（37）と続いた。付加価値を高めた新価格設定と同時に収益確保のためのコスト削減等の企業努力も重要になる。

※なお、フリー記入で商工会議所に対する諸々のご意見をいただきました。その中からいくつかの声を掲載します。

○桐生市に現存する魅力的な又は魅力的になり得る多くの施設を活用し、桐生市の活性化に繋がる事業を創造していきけるような施設が出来たら良いと思う。

○WEBサイトの調整、モバイルで観覧可能に、メルマガ等で定期的なお知らせ配信など。

○地域に根付いたサービスの橋渡し役。元市営施設など

との連携。個人事業所・小規模店や若い人の積極的な参加。

○少子化の改善。

○富岡製糸場の世界遺産登録を前提とした物販及び観光客の誘導に関する富岡市諸団体との連携を進めてほしい。

○桐生・みどり市両市合併の推進。

○次代に継承できる様な街づくりの創造的構想の確立が必要。官民協力の具体的方針をしっかりとめてほしい。

○商工会議所主催のイベントを増やしてもらいたい。

○地方経済が厳しい状況下、

異業種やいろいろな業種のアンテナショップ等を増設し街の活性化に繋げてほしい。

○二・三か月に一度は企業訪問してほしい。

○市郊外の商店・事業所（個人）に対しても色々と施策を考えてほしい。

○駐車場を利用し易くしてほしい。1階に受付・案内所を設置するべきだと思う。

○活気ある街づくりを基本として人口減少をくい止める策として、若者の流出を防ぐべく仕事の有る街にしてほしい。その為にも高校生や大学生等がアンケートを取り魅力ある会社や商業施設の進出など積極的に促してほしい。

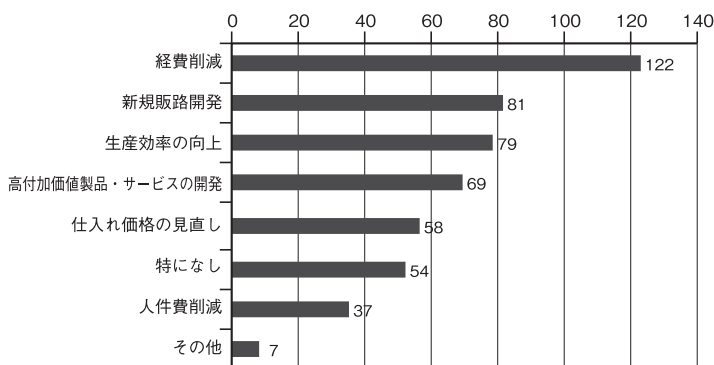
○プレミアム付き商品券をまた発行してほしい。

○創業、第二創業支援に取り組んでほしい。

○介護事業にも力を入れてほしい。

（この他にたくさんのご意見をいただきました。今後の当所事業活動に生かしていきたいと存じます。）

増税に向けた御社の取り組み



新大型保障プラン

定期保険

+

普通傷害保険

アクサ生命

アクサダイレクト

アクサ生命保険株式会社 桐生営業所

〒376-0023 桐生市錦町3-1-25 桐生商工会議所会館3F

インターネットのことなら何でも

インターネット
接続サービス

ホスティング
サービス

セキュリティ
サービス

専用線接続
サービス

ホームページ
作成サービス



サンフィールド・インターネット

群馬県桐生市広沢町3-4025 フリーダイヤル0120-55-0520
http://www.sunfield.ne.jp/ office8@sunfield.ne.jp

平成26年度 国税専門官募集

●受験資格

- ①昭和59年4月2日～平成5年4月1日生まれの方
- ②平成5年4月2日以降生まれの方で次に掲げるもの
- (1)大学を卒業した者及び平成27年3月までに大学を卒業する見込みの者
- (2)人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

●試験の程度＝大学卒業程度

●申込期間・方法

- 【原則】インターネットによる申込み
平成26年4月1日(火)午前9時～4月14日(月)〔受信有効〕
<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>
- インターネット申込みができない場合は、郵送又は持参
平成26年4月1日(火)・4月2日(水)〔2日までの通信日付印有効〕
希望する第1次試験地に対応する国税局又は国税事務所に提出

●第1次試験日＝6月8日(日)

- 問い合わせ先＝関東信越国税局 人事第二課 試験係
TEL 048-600-3111 内線2097 (平日8:30～17:00)

桐生市合同企業説明会 参加企業募集

平成27年3月
新規卒卒者対象

地元出身の学生をはじめ優秀な学生を地元企業に迎えるために「企業と学生の出会いの場」である標記説明会を下記により開催いたします。
多くの参加企業を募集しております。

日 時 平成26年4月17日(木) 午後1時～午後4時

会 場 桐生市市民文化会館4F スカイホール

対 象 者 平成27年3月卒業予定の大学生・短大生・専門学校生

参 加 費 無料 募集企業数 25社(予定)

申込み締切 平成26年3月14日(金)

学生への周知 桐生市・県内及び関東・新潟・福島・長野・山梨の大学、短大、専門学校 ほか

主 催 桐生市・桐生商工会議所・桐生公共職業安定所・桐生地区勤労対策協議会・群馬県東部県民局東部行政事務所・桐生市労働教育委員会

申込み・問合せ先 桐生商工会議所工業課
TEL.0277-45-1201 FAX.0277-45-1206

経営力強化!

売り上げアップのための マーケティングと知的資産経営

日 時 3月18日(火) 午後2時～4時30分

場 所 桐生商工会議所会館 4階405号室

講 師 石埜 茂氏(㈱アイクール代表取締役)
中山一郎氏(ナカヤマ行政書士事務所代表)

定 員 50名 参加費 無料

主催・申込み・お問合せ先
桐生商工会議所 電話:0277-45-1201

経営トップセミナー

『日本経済の現状と課題』

講師 吉川 洋氏(東京大学大学院経済学研究科教授)

日 時 3月17日(月) 開場:午後1時30分
講演:午後2時30分～4時

会 場 群馬ロイヤルホテル「鳳凰の間」
前橋市大手町1-9-7

定 員 250名(先着順) 参加費 無料

主催・お問合せ先 (公財)日本電信電話ユーザ協会群馬支部
電話:027-327-5576

経営者・後継者のための 基礎から始める事業承継対策

～社長借入金対策から自社株評価引き下げ対策について～

講師 宮田 昇氏(宮田昇税理士事務所代表)

日 時 3月20日(木) 午後2時～4時

場 所 桐生商工会議所会館 4階404号室

定 員 20名(定員になり次第締め切り) 参加費 無料

対象者 中小法人の経営者・後継者および役員の方
(ご夫婦・親子での参加歓迎)

主催・お問合せ先
アクサ生命保険㈱桐生営業所(桐生商工会議所後援)
電話:0277-22-7720

まごころ一番 桐生典礼会館

事前相談24時間
承ります

☎0277-55-0101
☎0120-552601

NTT東日本

もっと、光と。

FLET'S 光

Make your happiness

NTT東日本 群馬支店

青年部 第33回全国大会

とちぎ宇都宮大会に参加

日本商工会議所青年部主催の第三十三回全国大会とちぎ宇都宮大会が、栃木県商工会議所青年部連合会の主管で二月二十日（木）から二十三日（日）の四日間、宇都宮市を中心に開催された。

ーらとの交流を深め、各地の現状や取り組みについて積極的に情報交換していた。

今回の全国大会は、京都府京都市で開催される予定。

各地商工会議所青年部などから多数参加、当所青年部からは山根明会長をはじめとする青年部メンバーら十二名が出席した。

『集え！八州鎮守の地・とちぎへ！』を大会キャッチフレーズに分科会、記念式典、記念講演会等の各種事業が展開された。

参加者は、全国から集まった青年部メンバ



青年部全国大会とちぎ宇都宮大会に参加したメンバー

女性会 県商女性連の

「新年懇談会」 桐生主管で開催

群馬県商工会議所女性会連合会は、二月六日（木）、「新年懇談会」を桐生プリオパレスで開催した。今年は、桐生商工会議所女性会が主管となり県内より参加した女性会会

員ら百五十名をお迎えした。

初めに記念講演会が行われ、桐生市出身のNPOヘルスプロモーションセンター理事長で医師の佐藤和子氏より「正しい食生活でつくる健康」と

題したお話をいただいた。

懇談会では、県女性連の榎政江会長より「女性会活動を更に活発にするため協力を求めたい」と挨拶があり、続いて当所女性会の廣田須磨子会長より来桐の歓迎挨拶が述べられた。また、来賓の大澤県知事や亀山桐生市長らから、女性の活躍に大きな期待を寄せる祝辞をいただいた。

懇談会は余興を交え和やかに催され会員相互の親睦を深めた。

次年度は沼田商工会議所女性会の主管で開催される予定



来桐の歓迎あいさつをする廣田須磨子会長

商店連盟が
応援!!

桐「センバツ」 出場祝う

桐生第一高校の七年ぶり四度目となる春のセンバツ甲子園出場決定を受け、桐生市内では各地で祝福の看板や垂れ

幕、横断幕が飾られている。

桐生市末広町の桐生駅構内にも一月二十四日夕方、市内の商店街役員らが集まり、「祝甲子園出場」と両面に書かれた全長七メートルの看板を天井に取り付けた。

設置したのは、市内の中心商店街などをつくる桐生商店連盟協同組合（大沢豊理事長）。地元商店街をあげて甲子園出場をお祝いしようと、今回初

工学博士 服部禎男氏が講演

産環協が「環境セミナー」を開催

桐生商工会議所内に事務局を置く桐生地区産業環境保全連絡協議会（阿部研一会長は、二月二十日に環境セミナーを開催し、約三十名が参加した。

講師は、「原子力のリスク削減理論」で東京大学工学博士を取得した服部禎男氏。中部電力に入社後、動力炉・核燃料開発事業団へ派遣され「ふげん」建設等に携わった専門家の立場から、「安全性を備えた超小型原子炉構想」と題し、被災による

福島第一原子力発電所事故に伴う諸問題で、いまだ経済活動や市民生活に様々な影響が及ぶ中、独自開発の小型原子炉での



工学博士・服部禎男氏による「環境セミナー」

めて企画した。



桐生駅に看板を設置する商店街役員ら

桐生管内から4人が表彰 機械金属工業技術者表彰式

平成二十五年度の群馬県機械金属工業技術者表彰式が二月十日(月)に群馬県庁昭和庁舎「正庁の間」で開催され、当所管内から四人の技術者が表彰された。

当表彰は、群馬県内の機械

金属工業に従事する従業員で、その技術が優秀であり、県産業に貢献している功績を称えることにより、更なる技術水準の向上の意欲を高め、機械金属工業の振興を図ることを目的としている。

今回は群馬県全体で五十六人が表彰され、大澤正明群馬県知事から表

彰状と記念品が授与された。

桐生管内の表彰者は次のとおり(順不同・敬称略)。

▽小林馨(株ミツバ)▽大澤智(小倉クラッチ(株))▽小林正智(株山田製作所)▽窪田和芳(株桐生ソウイング)



県庁昭和庁舎で開催された群馬県機械金属工業技術者表彰式

確定申告に合わせ移動相談所開く

当所では確定申告受付開始に合わせ、桐生青色申告会と共催で移動相談所を開設した。税務・金融問題等で悩みを抱える小規模事業者の諸問題を解決するため地域に密着して

相談を受けようと毎年行っているもの。二月十七日(月)に川内公民館、十八日(火)に桜木公民館、十九日(水)に相生公民館、二十四日(月)に梅田公民館、二十五日(火)

に境野公民館で開設した。

また、平成二十五年度決算書と申告書の作成指導会が、二月二十六日(水)に当所六階ケービックホールで開催され、多くの方が相談に訪れた。



市内の5公民館を巡回した移動相談所

3/6 『ほつとぐんま』 番組で桐生を紹介

織都千三百年の節目を迎えた桐生市を紹介する番組「ほつとぐんま640」が次の通り放送される。

▽放送局・番組名NHK前橋総合・「ほつとぐんま640」▽放送予定日時三月六日(木)より六時四十分〜七時▽予定内容「伝統の桐生織や最新のトレンド、世界に誇る様々な技術などを紹介する他、「からくり人形芝居」や「ルーム・オブ・桐生」の取り組みも紹介する。

3月26日に通常議員総会

桐生商工会議所の通常議員総会が三月二十六日(水)午後三時から、会議所会館六階ケービックホールで開催される。

同総会は、平成二十六年度の事業計画並びに重点事業項目、一般会計をはじめとする各会計収支予算案などが上程される。

FT桐生写真コンテスト表彰式開く 28点の入賞作品を講評し激励

第十九回ファッシュンタウン桐生写真コンテストの表彰式が一月二十八日(火)午後六時から当所ケービックで開かれた。

桐生推進協議会会長(当所会頭)らから入賞者に表彰状が授与された。また、特別審査員を務めたフリーカメラマン小池正光氏

が二十八点の入賞作品をそれぞれ講評し入賞者を激励した。様々な魅力を具体的なイメージで感性豊かに撮影した作品を毎年募集し、今回は八十二人の応募者から百八十八点の作品が寄せられ、すべての作品は一月三十一日まで会議所会館一階ロビーに展示された。



当所ケービックで開かれたFT桐生写真コンテスト表彰式

管内景況
調査結果平成25年
10月
～
12月期

桐生商工会議所並びに桐生中小企業相談所が四半期毎に行っている「管内景況調査(平成25年10月～12月期)」の調査結果がまとまった。今回の調査では、対象企業396社のうち、158社から回答が寄せられた。

景況調査全体の動きは次のとおり。

【業況D-I】

今期の業況D-Iは、全体でマイナス21。前期(マイナス24)と比べると3ポイントのプラス、前年同期(マイナス33)と比べると12ポイントのプラスとなった。

業種別では、建設業プラス22(前期比プラス22、前年同期比プラス28)、商業・サービス業マイナス42(前期比プラス6、前年同期比プラス7)、機械金属製造業プラス3(前期比マイナス11、前年同期比プラス22)、繊維製造業マイナス26(前期比マイナス2、前年同期比プラスマイナス0)となっている。

【採算D-I】

今期の採算D-Iは全体でマ

イナス29。前期(マイナス31)と比べると2ポイントのプラス、前年同期(マイナス38)と比べると9ポイントのプラスとなった。

業種別では、建設業マイナス11(前期比プラス16、前年同期比プラス18)、商業・サービス業マイナス47(前期比プラス4、前年同期比プラス2)、機械金属製造業プラス3(前期比マイナス2、前年同期比プラス25)、繊維製造業マイナス30(前期比マイナス12、前年同期比マイナス3)となっている。

【来期業況D-I】

来期の業況予測D-Iは全体でマイナス20。前期(マイナス22)と比べると2ポイントのプラス、前年同期(マイナス36)に比べると16ポイントのプラスとなった。

業種別では建設業プラス13ポイント(前期比プラス34、前年同期比プラス38)、商業・サービス業マイナス34ポイント(前期比プラス3、前年同期比プラス11)、機械金属製造業マイナス10ポイント

(前期比マイナス29、前年同期比プラス16)、繊維製造業マイナス12ポイント(前期比プラス11、前年同期比プラス19)となっている。

【経営上の問題点】

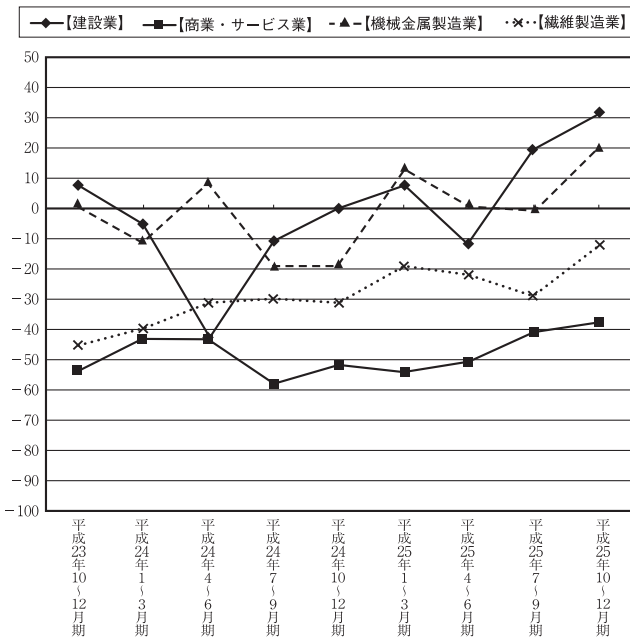
経営上の問題点としては、建設業では「熟練技術者の確保難」(14%)「材料価格の上昇」(「下請業者の確保難」(12%)、商業・サービス業では「需要の停滞」(19%)「消費者ニーズの変化への対応」「購買力の他地域への流出」(13%)、機械金属製造業では「製品単価の低下・上昇難」(21%)「需要の停滞」(15%)、繊維製造業では「製品単価の低下・上昇難」(23%)「需要の停滞」(21%)となった。

※D-Iとは、デیفュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、このD-Iの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このD-Iは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差し引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス(+)となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス(-)となります。

D-Iについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

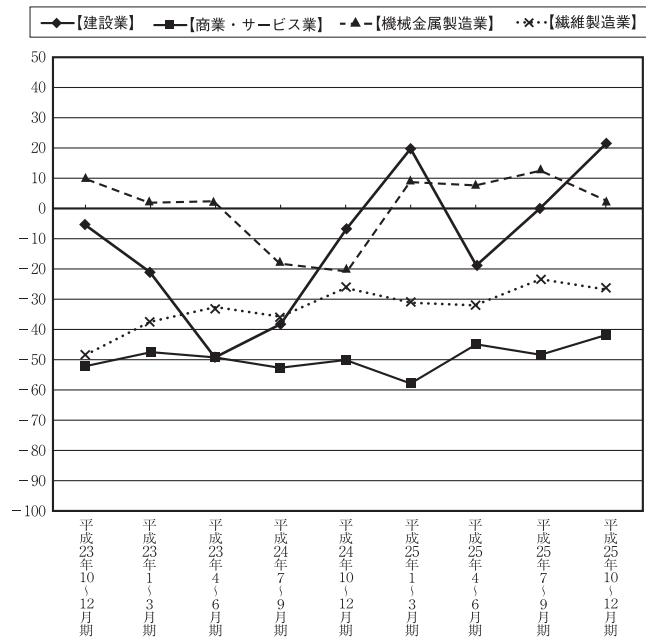
★売上額(完成工事額)の推移

[平成23年10～12月期]から[平成25年10～12月期]



★業況の推移

[平成23年10～12月期]から[平成25年10～12月期]



両毛市5ネットウーク

コーナー

足利
両毛エリアのデータ
がこの1冊に！
**両毛広域圏経済
概況No.23完成**

足利商工会議所では、情報
基盤の拡充を目的に両毛エリ
アの各種データをまとめた
「両毛広域圏経済概況」を発行
した。

両毛六市（足利、佐野、館
林、太田、桐生、伊勢崎）の
概況に加え、各市の統計数字
や足利市の概要及び観光、両
毛六市の人口・世帯、財政力、
経済力、雇用・マンパワーな
どの都市基盤データを紹介す
るなど、ビジネスシーンではも
とより、様々な場面で活用で
きる内容とした。

頒布価格は、一部六五〇円
（税込）。足利商工会議所本部
事務所で取り扱っている。問
合せは、足利商工会議所経営
支援一課（電話〇二八四―二
一―一三五四）まで。



佐野
佐野ナビゲーション
フェア
2014春の開催

佐野市・佐野市観光協会・
JA佐野・佐野商工会議所で
組織する佐野コミュニケーション
センター管理運営協議会
では、佐野プレミアム・アウ
トレットで「佐野ナビゲーション
フェア」を開催する。



このイベントは、佐野市を
PRする目的で行われており、
今回は、旬の「いちご」を
メインに、市の特産品や佐
野ブランド品の販売及び観
光施設のPRを行うもの。
さの

まるが参加する佐野市のパン
フレットと特産品のノベルテ
ィ配布や出店している店舗で
買い物をされたお客様を対象
に抽選会も行われる。アウト
レットで買い物の際には、お
立ち寄りください。

【日時】三月九日（日）十時～
十八時（予定）

【場所】佐野プレミアム・ア
ウトレット内プレイグラウンド
前

【内容】いちごの試食・販売、
佐野市の特産品及び佐野ブラ
ンド品の販売、観光PR、ノ
ベルティ配布、抽選会

館林
館林さくらまつり
(3月25日～4月13日)
と
こいのぼりの里
まつり
(3月25日～5月9日)

館林市観光協会では、「館林
さくらまつり」を三月二十五
日（火）～四月十三日（日）
まで、鶴生田川両岸（城町）、
多々良保安林（高根町・松沼
町）、近藤沼公園（下三林町）、
つつじが岡パークイン（花山
町）の四ヶ所で開催する。
鶴生田川両岸には六百個の
ボンボリが飾られるほか、多
々良保安林、近藤沼公園にも
点灯され、まつりを盛り上げ

る。

まつり期間中の二十九日
（土）には館林市役所東広場
において山形の芋煮会と山形・
館林の特産物の即売をはじめ、
期間中多数のイベントも行な
われる。

また、「こいのぼりの里ま
つり」が、三月二十五日（火）
～五月九日（金）まで鶴生田
川、近藤沼、つつじが岡パー
クイン、茂林寺川、多々良沼
の五会場で合わせて五千匹を
超えるこいのぼりが掲揚され
る。

*問合せは、館林市観光協会
電話〇二七六―七二―四一―
一（館林市役所花のまち観光
課）まで。



太田
春夏ニットの工場直
販！
**太田ニットバザ
ール開催**

太田ニット工業協同組合で
は、毎年恒例の「太田ニット
バザール」を開催する。

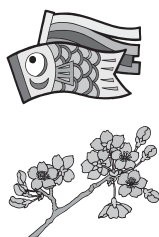
太田のメリヤスはその歴史
も古く、今日まで洗練された
技術を生かした特徴ある製品
は、太田の地場産品としても
有名。

当日は、オシャレで着心地
のよい春夏ニット製品を太田
の有力メーカーが安価にて提
供する。

また抽選により、素敵なニ
ット製品のプレゼントもある
ので、多くの来場を呼び掛け
ている。

▼期日〓三月三十日（日）
午前十時～午後三時三十分
▼会場〓太田商工会議所三F
中ホール

問合せは、太田ニット工業
協同組合（電話〇二七六―五
二―〇七五七（株）テラウチ内）
まで。



”重伝建で 「ひもかわ」を 藤屋本店

本町一丁目交差点かどに暖簾を構える手打ちうどん・そばの藤屋本店。土蔵やノコギリ屋根工場など歴史的なまち並みが残る重伝建地区にあり、最近テレビやグルメ雑誌等で



話題の「ひもかわ」が味わえるところとあって、市外県外からの観光客も連日多く訪れる名店である。平成二十年にリニューアルした店舗は、古い建物が建ち並ぶ重伝建地区の景観にマッチした純和風のデザインになっている。

藤屋の歴史は古く、創業は明治時代、百二十年以上続く老舗である。現在、三十一歳の若さで店を守るのが、六代目となる藤掛将之さん。大学

組付け等、幅広い分野での製造が可能で、試作から筐体まで一貫した生産を行っている。

主要製品である公共事業用アンケル製品をはじめとし、パチンコ、ゲーム機等の周辺機器、工場用設備、医療機器など様々な産業に携わっている。

現在、国内向けメガソーラー用パワーコンディショナー(500kw)のボディー部品を制作しているが、このたび輸出向けメガソーラー用パワ

卒業後、東京の和食店で修業し、今から五年前に家業を継ぐため地元に戻った。桐生うどん会や麺類商組合の活動にも積極的に参加している。

おすすめのメニューは、お客の大半が注文するという桐生名物の「ひもかわ」。カレーセイロや豚セイロなど種類も豊富だ。桐生の一押し商品にも認定されている「半生ひもかわ」は、お持ち帰りのお土産に喜ばれている。また、熊本の蔵元と提携して創るオリジナル蕎麦焼酎も自慢の一品。桐生第一高校の野球部OBで三年生の夏には甲子園にも

ーコンディショナー(1500kw)のボディーAsapの制作も受注する事が出来た。とても大型であるため土地、機械設備などが必要だが、今後の需要などを踏まえ対応できる形をとることとした。現状に頼らず、先を見据えて投資していくことはとても勇気のいることであるが、企業を継続させていくうえでは必要なことなのだと筆者の私は勉強させられた。

専務取締役の八木橋比佐樹さんは当所青年部に入会しており、理事として日々活躍中である。

出場した将之さん。今春、母校の七年ぶりのセンバツ出場を心から喜ぶ。「後輩たちに負けないよう自分も頑張りたい」と爽やかに話してくれた。

▽営業時間〓(昼)午前十一時三十分～午後二時三十分(夜)午後五時三十分～八時三十分
※夜の営業は金土日
▽定休日〓月曜日
▽住所〓桐生市本町一丁目六―三十五
▽電話〓〇二七七―四四―三七九一

「お客様の多様なニーズに迅速に応え、コスト削減の構造、加工の提案などお客様目線で仕事に邁進していきたい」と語っていた。
▽住所〓みどり市笠懸町鹿二一〇七―一
▽電話〓〇二七七―七六―一六六一
▽営業時間〓午前八時三十分～午後五時十五分
▽定休日〓会社カレンダーによる



精密鋳金を専門とした金属加工を行う(株)協和



120年以上の歴史を受継ぐ6代目店主の藤掛将之さん